

# 60分コンサート

ピアノとお話 南日 美奈子

## ～フランス音楽への誘い I ～ フォーレ没後 100 年

オルガン奏者から出発し、  
パリ音楽院院長を務めた  
フォーレの国葬から 100 年。  
その優美な音楽で人々を魅了  
する一方、次第に時代の新しい  
潮流に背を向けるように  
独自の境地を深めました。



初期の美しい抒情的作品から  
深く憂いに満ちた最晩年まで、  
その変遷をたどると共に、  
同時代の新しい旗手である  
ドビュッシー、ラヴェルの  
オーケストラ曲を連弾で  
お聴きいただきます。

♪ 第一部 プレトーク「気品と瞑想と～フォーレの時代とその音楽」 安川智子（音楽学）  
フォーレ 月の光 Op.46 (Mel Bonis 編曲)  
8つの小品 Op.84 より 第4番 Adagietto ピアノ 南日美奈子  
(休憩 20分)

♪ 第二部 60分コンサート  
フォーレ 3つの無言歌 Op.17 より 第3番  
夜想曲 第6番 変二長調 Op.63  
夜想曲 第13番 口短調 Op.119  
ドビュッシー 牧神の午後への前奏曲 (ラヴェル編曲) ピアノ連弾 門田佳子  
ラヴェル 「スペイン狂詩曲」より『祭り』 南日美奈子

2024年 6月23日(日) 14時00分 プレトーク (開場 13時30分)  
15時00分 60分コンサート  
鶴見区民文化センター サルビアホール 3F 音楽ホール  
入場料 3,000円

主催 ミモザの会 045-546-0447

協力 グループ奏 080-5686-8194/musicgroupsou@gmail.com

後援 日本フォーレ協会 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)

YAA <https://yaassoci.jimdofree.com/> 横浜日仏友好会



南日美奈子のピアノソロとお話、ゲストとのデュオで構成され、2014年から始まった60分コンサートですが、今回は、コンサートに先立ち、音楽学の安川智子さんによるプレトークを企画しました。19世紀後半から20世紀初頭、パリを舞台に花開いたフランス近代音楽の先駆的存在であり、生涯その作風が大きく変わったフォーレの魅力を身近なものとして、ドビュッシー、ラヴェルと共に楽しみいただきます。

プレトーク 安川智子 Tomoko Yasukawa

フランスの音楽文化史を専門とする研究者。パリ・ソルボンヌ大学メトリーズ課程を経て、東京藝術大学大学院博士後期課程を修了（音楽学）。現在北里大学一般教育部教授。東京藝術大学大学院声楽科非常勤講師。近著に『ベートーヴェンと大衆文化—受容のプリズム』（共編、2024）、『オペラの時代—音楽と文学のポリフォニー』（共著、2024）、『ハーモニー探究の歴史』（共編、2019）など。NHK FM「古楽の楽しみ」案内人。



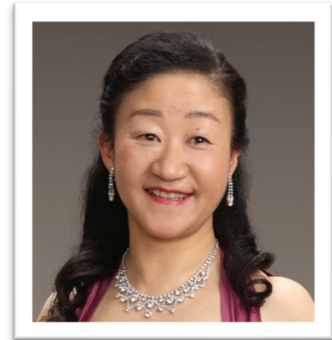
ピアノ 南日美奈子 Minako Nannichi

東京藝術大学卒業。同大学院修了。文化放送音楽賞受賞。ロータリー財団国際親善奨学生としてジュネーヴ音楽院留学。リサイタル（東京・名古屋）では、リストの内面を描いた晩年の作品を意欲的に取り上げる。ソロ・歌曲・室内楽を交えた4回の「フォーレの夕べ」、7回の「コンサートシリーズ」を開催。NHK-FM 放送に出演。東京、ボトシャニ（ルーマニア）にてオーケストラと協演。日本フォーレ協会会員。全日本ピアノ指導者協会 正会員。



ピアノ連弾 門田佳子 Yoshiko Kadota

桐朋学園大学卒業。米・インディアナ大学留学。日本・アメリカにてソロコンサート、ルーマニアにて国立オルテニア交響楽団とピアノ協奏曲を共演。2012年から毎年、元ウィーン・フィル第2ヴァイオリン首席奏者ペーター・ヴェヒター氏と共演。2022年9月、日本・セルビア友好140周年記念事業「江戸文化紹介（落語と音楽）」に三遊亭楽麻呂師匠とセルビア5都市で公演。ソロ・伴奏・室内楽と幅広く演奏活躍を行う。



鶴見区民文化センター サルビアホール 3F 音楽ホール

〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 1-31-2

シークレイン内

TEL : 045-511-5711 / FAX 045-511-5712

JR 鶴見駅東口、京急鶴見駅西口より徒歩2分

地上よりシークレインのエスカレーター利用

チケットお取扱い

サルビアホール窓口販売（9：00～20：00）

ミモザの会 045-546-0447

グループ奏 080-5686-8194/musicgroupsou@gmail.com

